

池田市北部のチョウ - 1997~1998年の記録 - 木下 修一

1. はじめに

筆者は1996年から1997年にかけて川西市黒川地域のチョウとトンボの調査を行った(木下,1997、木下・牛尾,1997)が、引き続いて筆者の住まいの近くである池田市東山町、伏尾町周辺を歩いてチョウとトンボを調べてみた。今回は黒川地域の時とは異なり、散歩代わりに漫然と歩いたためそれほど網羅的、定量的ではないが、黒川地域や他の地域と比較する上では興味ある結果が得られたのではないかと思ひ報告したい。

2. 観察地域の特徴と調査方法

主に図1に示すようなほぼ決まったコースをゆっくり歩き、採集もしくは目視により種の同定、および、おおよその個体数の調査を行った。頻度はほぼ週1回のペースで1997年はシーズン中に27回、1998年は9月中旬までに25回の観察を行った。

今回歩いた場所は、池田市北部の五月山の西側斜面にあたる東山町と伏尾町にまたがる地域である。この地域は古くより植木の町として知られ、全国から集めてきた木を育てて再び運び出すという植木の集散地であった。そのため、山の中腹までは植栽で占められており、手入れは良く行き届いている。山道沿いには炭焼きのための台場クヌギがまだ点在しており、そのため古くより昆虫採集地としても知られていた。近年、そのクヌギが次々と伐られ、また、周辺に伏尾台、バードヒルズなどの住宅地もできてきたため、環境も急速に変わりつつあるのではないかとと思われる。

山の中腹より下には畑や田圃が広がり、道路を挟んで猪名川の支流である余野川が流れている。このあたりの風景は黒川地域と同様に里山風景が見られるが、黒川よりも開けた感じがする。全般にお花畑になりうるような広い環境には乏しく、逆に林の周辺には日陰性の種類が多く見られている。

3. 観察結果の全般的印象

この1年半ほどに見られたチョウは8科56種で

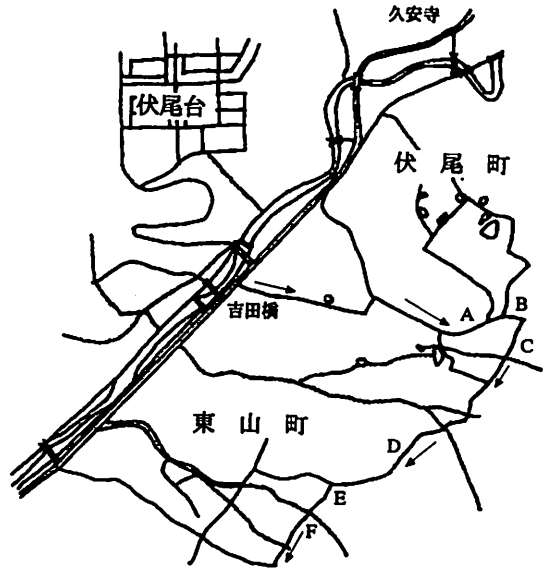


図1 池田市北部のチョウの調査地域

あった(表1)。池田市で調査を続けておられる下山孝氏のホームページによると、池田市ではこれまで8科83種(偶産、絶滅種と思われるもの10種ほどを含む)が見られている。今回の調査結果はこれに比べるとかなり少ないが、最近の傾向を知る上では参考になるのではないかとと思われる。

表1には月別の観察結果を、また、黒川地域との比較を表2に示す。これらの表で、●、◎、○は個体数を表しており、個体数を大体3段階に分類し、●は数が多い、◎は普通、○は少ないとした。黒川地域と比較すると、山地性のヒョウモン類、ゼフィルス類、スミナガシ、サカハチチョウ、アオバセセリなどが見られないのが目に付き、逆に、最近北上傾向の著しいナガサキアゲハが多く見られたことなどが注目される。

表1 池田市北部月別テヨウ発生状況 (1997-98)

	月		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		個体数	
	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後		
1	キアゲハ												○				○	○									○	
2	アゲハ								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						○	
3	クロアゲハ																										○	
4	オナガアゲハ																										○	
5	ナガサキアゲハ																										○	
6	モンキアゲハ																										○	
7	カラスアゲハ																										○	
8	アオスジアゲハ																										○	
9	キチョウ																										○	
10	モンシロチョウ																										○	
11	モンキチョウ																										○	
12	ツマキチョウ																										○	
13	スジグロシロチョウ																										○	
14	ヒノスジグロシロチョウ																										○	
15	ウラギンシジミ																										○	
16	ムラサキシジミ																										○	
17	アカシジミ																										○	
18	トラフシジミ																										○	
19	ベニシジミ																										○	
20	ウラナミシジミ																										○	
21	ヤマトシジミ																										○	
22	ツバメシジミ																										○	
23	ルリシジミ																										○	
24	テングチョウ																										○	
25	アサギマダラ																										○	
26	メスグロヒヨウモン																										○	
27	ツマグロヒヨウモン																										○	
28	イチモンジチョウ																										○	
29	アサマイチモンジ																										○	
30	ミスジチョウ																										○	
31	コムシジ																										○	
32	ホシミスジ																										○	
33	キタテハ																										○	
34	ヒオドシチョウ																										○	
35	アカタテハ																										○	
36	ヒメアカタテハ																										○	
37	ルリタテハ																										○	
38	コムラサキ																										○	
39	ゴマダラチョウ																										○	
40	オオムラサキ																										○	
41	ヒメウラナミジャノメ																										○	
42	ジャノメチョウ																										○	
43	ヒカゲチョウ																										○	
44	クロヒカゲ																										○	
45	クロヒカゲモドキ																										○	
46	サトキマダラヒカゲ																										○	
47	ヒメジャノメ																										○	
48	コジャノメ																										○	
49	ダイミョウセセリ																										○	
50	ミヤマセセリ																										○	
51	ホソバセセリ																										○	
52	コチャバネセセリ																										○	
53	キマダラセセリ																										○	
54	オオチャバネセセリ																										○	
55	チャバネセセリ																										○	
56	イチモンジセセリ																										○	
	種類数合計																											○
																												○

4. 目録

<アゲハチョウ科>

1. キアゲハ
2. アゲハ (29.IV.1998 1ex.)
3. クロアゲハ
4. オナガアゲハ (3.V.1998 1♂)
5. ナガサキアゲハ (13.IX.1997 1♀, 30.VIII.1998 1♂) 最近、急速に進出してきた南方系のチョウで、池田市北部でも定着しているようだ。
6. モンキアゲハ (10.V.1997 1♀)
7. カラスアゲハ (4.V.1998 1♀)
8. アオスジアゲハ

<シロチョウ科>

1. キチョウ (24.VIII.1997 1♀, 13.IX.1997 1♂1♀)
2. モンシロチョウ (18.IV.1998 1♂)
3. モンキチョウ
4. ツマキチョウ (15.IV.1995 1♂)
5. スジグロシロチョウ (19.IV.1997 1♀, 7.VI.1997 1♀)
6. エゾスジグロシロチョウ (19.IV.1997 1♂, 13.IX.1997 1♂)
黒川地域ではハクサンハタザオが群生していることに対応して、数多くの個体が見られた。今回の調査ではCからFまでの山道沿いで多くは見ることができた。
7. スジボソヤマキチョウ

<シジミチョウ科>

1. ウラギンシジミ
2. ムラサキシジミ
3. アカシジミ (17.V.1998 1ex., 22.V.1998 1ex.)
4. トラフシジミ
5. ベニシジミ
6. ウラナミシジミ
7. ヤマトシジミ (19.IV.1997 1♂, 2.XI.1997 1♂, 18.IV.1998 1♀)
8. ツバメシジミ (6.VI.1998 1♀)
9. ルリシジミ (5.IV.1998 1♂)
10. コツバメ

<テングチョウ科>

1. テングチョウ

<マダラチョウ科>

1. アサギマダラ (10.X.1997 1♂)

<タテハチョウ科>

1. メスグロヒョウモン (17.V.1998 1♂)
2. ツマグロヒョウモン (10.V.1997 1♂)
3. ミドリヒョウモン
4. イチモンジチョウ
5. アサマイチモンジ (17.V.1997 1ex.)
6. ミスジチョウ
主にAからBの地区で見られたが残念ながら採集はできなかった。数は多くない。
7. コミスジ
8. ホシミスジ
9. キタテハ
10. ヒオドシチョウ (14.VI.1997 1ex.)
11. アカタテハ
12. ヒメアカタテハ (19.IV.1997 1ex.)
13. ルリタテハ (5.X.1997 1ex.)
14. コムラサキ (9.V.1998 1♂)
民家の近くで1頭得られたが、数は少ないようだ。
15. ゴマダラチョウ (16.VIII.1997 1ex., 20.IX.1997 1ex.)
16. オオムラサキ (5.VII.1997 1♀)
AとEのクヌギに止まっている姿を何回か見かけた。数は多くない。

<ジャノメチョウ科>

1. ヒメウラナミジャノメ
2. ジャノメチョウ
3. ヒカゲチョウ
4. クロヒカゲ (20.VII.1997 1♂)
5. クロヒカゲモドキ (14.VIII.1997 1♀)
草原沿いの山道Cで飛来したものを1頭だけ採集できた。
6. サトキマダラヒカゲ
7. ヒメジャノメ
8. コジャノメ

<セセリチョウ科>

1. ダイミョウセセリ
2. ミヤマセセリ
3. ホソバセセリ (5.VII.1997 1♂, 20.VII.1997 1♀)

表2 黒川地域と池田市北部(東山、伏尾)のチョウの比較

科名	種名	黒川	東山	RDB	兵庫県
アゲハチョウ科	アゲハ	◎	◎		
	キアゲハ	○	○		
	クロアゲハ	◎	◎		
	オナガアゲハ	○	○		
	モンキアゲハ	○	○		
	ナガサキアゲハ		○		
	カラスアゲハ	◎	○		
	アオスジアゲハ	◎	●		
シロチョウ科	モンキチョウ	●	●		
	キチョウ	●	●		
	スジボソヤマキチョウ	○	○	要	
	スジグロシロチョウ	◎	◎		
	エゾスジグロシロチョウ	●	◎	要	
	モンシロチョウ	●	●		
	ツマキチョウ	◎	◎		
	シジミチョウ科	ムラサキシジミ	◎	◎	
アカシジミ			○		
ウラナミアカシジミ		○			
ミスイロオナガシジミ		○			
オオミドリシジミ		○			
トラフシジミ		◎	○		
コツバメ		◎	○		
ベニシジミ		●	●		
ウラナミシジミ		○	◎		
ヤマトシジミ		●	●		
ルリシジミ		◎	◎		
ツバメシジミ		●	◎		
ウラギンシジミ	◎	●			
テングチョウ科	テングチョウ	◎	◎		
マダラチョウ科	アサギマダラ		○		
タテハチョウ科	メスグロヒヨウモン	○	○		
	クモガタヒヨウモン	○			
	ミドリヒヨウモン	○	○		
	ツマグロヒヨウモン	○	◎		
	オオウラギンシジヒヨウモン	○			

科名	種名	黒川	東山	RDB	兵庫県	
イチョウ科	イチモンジチョウ	◎	◎			
	アサマイチョモンジ	◎	○			
	コムシジ	●	●			
	ミスジチョウ		○	C		
	ホシミシジ	○	◎			
	サカハチチョウ	○				
	キタテハ	◎	●			
	ヒオドシチョウ		○			
	アカタテハ	◎	◎			
	ヒメアカタテハ	○	◎			
	ルリタテハ		◎			
	スミナガシ	○				
	ゴマダラチョウ	○	○			
	コムラサキ		○			
	オオムラサキ	○	○	B		
	ジャノメチョウ科	ヒメウラナミジャノメ	●	●		
		ヒメジャノメ	◎	◎		
		コジャノメ	◎	◎		
ジャノメチョウ		●	◎			
ヒカゲチョウ		◎	◎			
クロヒカゲ		◎	◎			
クロヒカゲモドキ			○	B		
サトキマダラヒカゲ		●	◎			
セセリチョウ科	ヤマキマダラヒカゲ	○				
	ミヤマセセリ	◎	○			
	ダイミヨウセセリ	◎	◎			
	オオバセセリ	○				
	コチャバネセセリ	●	◎			
	キマダラセセリ	◎	◎			
	ホソバセセリ	○	○			
	オオチャバネセセリ	●	◎			
	ミヤマチャバネセセリ	○		要		
	チャバネセセリ	◎	◎			
イチモンジセセリ	◎	●				
合計		62	59			

注：黒川の欄は文献(木下、1997)による。兵庫県RDBの欄は「ひょうごの野生動物」神戸新聞総合出版センター(1997)による(B：Bランク、C：Cランク、要：要注目種)。

20.VI.1998 1♂)

Fなど少し暗い環境で見られた。数は多くない。

4. コチャバネセセリ
5. キマダラセセリ (16.VII.1997 1♂)
6. オオチャバネセセリ
7. チャバネセセリ (5.X.1996 1♂, 14.VII.1997 1♂, 26.IV.1998 1♂)
8. イチモンジセセリ

注：日付のないものは目視または採集確認後に放ったもの。なお、目録には以前に目撃した記録も含めている。

<参考文献>

- 木下修一(1997) 黒川のチョウ きべりはむし 25(1):40-44.
 木下修一・牛尾巧(1997) 黒川のトンボ きべりはむし 25(2):39-43

(KINOSHITA SHUICHI 池田市伏尾台5-1-5-901)